

10
月号

第440号

いっしん

令和3年(2021年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

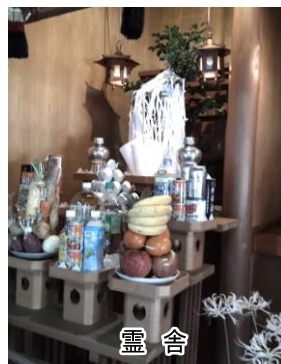
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

われよしと
思う心は
ちりほども
許すことなく
戒めてゆけ

教祖様138年 教団独立121年 小倉教会布教136年 甘木親教会布教117年
安武松太郎大人70年 加治木教会布教70年…5月30日ご祭典が奉仕されました。



加治木教会奥津城



霊舎



9月23日(祝)

秋季霊祭

仕えられる

彼岸花が咲き出した、九月二十三日の秋分の日、加治木教会では秋季霊祭が仕えられました。

午前十時半より、教会長祭主にて秋季霊祭が仕えられました。

ご神前で奏上祭が仕えられ、ご霊前に転座後は、加治木教会でお道の御用に生涯をささげられた先生方をはじめ、教徒・信徒・縁ゆかりあるご霊神のみ名を読み上げてお呼び出し上げ、ご霊神様方にお礼・お慰め・お称え申し上げて、これからも親神様のお恵みを受けられてひととき高い位のご霊神となられ、ご安心され家族親族・縁ある人たちを守り導くお働きがでえられるよう、お祈り申し上げる祭詞が奏上されました。

ご霊前では、祭詞奏上後、参拝者全員が順にご霊前に玉串を奉奠させていただきました。

秋季靈祭

《教話要旨》（教会長）

教祖様のご理解に、

「先の世までも持ってゆかれ、子孫までも残るものは神徳じゃ。神徳は、信心すればだれでも受けることができる。みてる（尽きる）ということがない。」

とあります。

信心をされた靈様方は皆、先の世までも持ってゆくことができ、子孫までも残る神徳をお積みになってあります。

ただ、そこに信心の仕方により積むことのできる神徳の差が生じるこ
とがありましよう。

より神徳を積むためには、親神様の
 思し召しに添う信心をすることが
 大切で、加治木教会では、矢野ク



信心」という信心のあり方を伝えられています。

加治木教会で「改まりの内容」として唱えています。「自己中心の信心から、親神様の御立場に立った信心に」というように、信心始めのうちは「自己中心」の願いや思いに陥りやすいものであります。

「へこんなに信心しているのにどうして」とか「信心しているのに願うことと反対になってしまった」ということさえ起る場合もあります。

親神様には深いお慮(はか)らいがあり、将来のため末々のためということもあるのです。

親神様の深く広大な、親心・お働き・お恵み・お慮らいのあることをわからせてもらわねばなりません。

そうして親神様に「ご信用いただく信心を進めて行くことが、より神徳を積むことができる信心と言えます。」



矢野クラ刀自

そのため、親教
会初代親先生は
その点を、願ひ通
りになつても願
ひ通りにならな
くて、親神様に

対しての、信じる心・敬う心・真実の喜びを奉る心が薄れないよう、動かないようになることが大切と教えられています。

O

また、そのような場合の「御礼・お詫び」の申し上げ方のひとつの礼として『安武松太郎師』というご伝記に次のようなことが記されています。

「今日までいただいてきたおかげを
過分なお恵みと感謝して、このよう
な信心では相すまぬとお礼おわびを
させていたっていると、神様は、
大急ぎで、またおかげを持ってきて
くださる。

これは相すみませぬと、大急ぎで、なおお礼おわびの信心をさせていただいていると、こんどは神様は、自転車で大みかげを持ってきてくださる。

ああ、またこのような大みかげを、ろくろく信心もできていないのにと、こんどは自転車に乗ったつもりで、お礼とおわびの信心をさせていただいていると、神様は、こんどは自動車で大みかげを持ってきてくださる。

ああ、また神様は、信心もできていない自分に、このような大みかげを下されたかと、自動車で急ぐような気持ちで、なおお礼おわびの信心をさせていただいていると、こんどは、飛行機で大みかげを持ってきたさる。

そのように神様は、いつもいつも、先に先にと大みかげを下さっているのである。

しかるに、自分はこのように信心しているのに、なかなかおかげがいただけぬとか、また、このようなつまらぬことになったとかいうような、不足不平の心が出ると、神様は、ピタリと大みかげの芽を止めてしまわれます。」

『安武松太郎師』

（三三九～三四〇ページ）
ここでは、親神様の御立場に立って、親神様から頂くおかげを「過分なお恵みと感謝して」また「ろくろく信心もできていないのに」さらに「信心もできていない自分に、このような大みかげを」と、親神様に対しての、謹み・敬い・尊む心から出てくる、感謝してへりくだらざるを得ないご態度がつかえます。

しかし「自分はこのように信心しているのに」という慢心の心が出てくると、大みかげの芽が止まってしまふということです。

そういう「慢心」ということを親教会初代親先生は「われよしと思う心」と表わされ御歌にして、

われよしと思う心を仇として
戦いて行け日夜毎に

われよしと思う心にあざむかれ
ゆくての道をあやまるなゆめ

とみ教えになっておられます。

私も、より多くの「先の世までも持つてゆかれ、子孫までも残る神徳」を積むことができるよう、親神様の深く広大な親心・お働き・お恵み・お慮らいの中に生かされて生きていることわからせていただき「親神様の御立場に立った信心」へと、一歩も二歩も踏み込んだ信心をさせていただいて、神様のご信用を頂き、より神徳を積めるようになります。今日秋の霊祭であります。私ど

ちにより多くのご神徳を遺すために「親神様の御立場に立った信心」に努めて下されたご先祖のご霊神様方にシッカリ御礼申し上げて行きましよう。（おわり）



「東日本大震災十年祭」

ユーチューブ鑑賞会

九月五日(日)宮城県仙台市で、東日本大震災金光教慰霊復興祈願祭実行委員会が主催し「東日本大震災十年祭」が仕えられ、ユーチューブ配信がされることが全教にチラシやSNSなどで伝えられていましたので、加治木教会ではユーチューブライブ配信をお広前においてテレビで鑑賞するユーチューブ鑑賞研修会が開かれました。

ユーチューブライブ配信を鑑賞するスタイルの研修会は初めてのことで、前もっての参加はあまり勧めず、ゆるやかにお知らせする程度だったので参加者はごく少数でした。

遠く仙台市のライブ映像のご祭典を拝することができ、慰霊・追悼の祈りが伝わり、とても感動的でした。ご祭典も講話も、比較的是っきりと視聴できました。

ご祭典は、ビデオ映像がスイッチャーを使ってアップやワイドで見る

ことができ効果が上がったように感じました。



ご祭典祭主は金光栄雄先生(福島教会長)
祭員左手前は御船貴之先生(仙台教会)



講師 岩崎道與先生(教務総長・静岡教会長)



講話は、前もっての収録で、説明のスーパー(画面文字が入っているところが効果的でした)。

東日本大震災から今日までの十年間を、感動的な朗読や、お道による支援活動などの写真ビデオにより、振り返ることができ、良い内容の追悼式でした。

また、ユーチューブライブ配信をお広前においてテレビで鑑賞する研修会は、臨場感があり、コロナ禍の中にあっての、これからの研修会の開き方のスタイルとして十分生かせることが確認できました。

内容の構成の仕方が大変良かったのは、実行委員会の皆さんの前もっての準備や内容検討が綿密にシッカリと行われていたからでありましょう。

※「東日本大震災十年祭」は、今もスマホやインターネット(ユーチューブ)で視聴することができます。

感 詠



教会長

無限なる愛と力と働きとはかり知れざる神慮の中に

コロナ禍に県外行きの憚^{はば}られ
秋大祭へ収まり祈る

地のお徳背負うがごとき微生物
イベルメクチン生み出す力

地中には多種多様な微生物
環境破壊もなくす地の徳

神様を小さく拝んでいはいはせぬか
無限の神の奇跡の中に

奇跡なる惑星の中
奇跡なる進化を遂げて今を賜り

心澄み渡り行くこと毎朝と
ならざるわれを叱咤してゆき

ご霊神様のおまじ

十月

平地セイ之霊神	平成 14 10 01
矢野サダ子大乃自之霊神	平成 24 10 03
香山陽子之霊神	昭和 56 10 06
中村正行大人之霊神	平成 23 10 06
大木千鶴子之霊神	平成 16 10 07
上田喜四郎之霊神	平成 03 10 08
中野綾子之霊神	平成 04 10 08
瀬戸淳一之霊神	平成 23 10 10
庄村徳二之霊神	平成 02 10 13
前田シヅ之霊神	平成 26 10 13
有蘭敏雄之霊神	平成 27 10 14
瀬戸秀雄之霊神	昭和 50 10 14
荒木恒之霊神	令和 01 10 16
前田照子之霊神	大正 14 10 17
内村 健之霊神	昭和 58 10 17
中野満行之霊神	平成 12 10 18
岡山健一之霊神	平成 29 10 21
香山住晴之霊神	昭和 47 10 19
矢野仁吉郎之霊神	昭和 30 10 26
福元フサ子之霊神	平成 15 10 29
市来政利之霊神	平成 30 10 30



「先祖のご霊神様の、現世・
幽冥かくりよでのお働きあつての
今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、
玉串を奉てんしてお礼を
申し上げます。」
教会では、十日の月例祭で、
霊前での玉串の奉てんを準備しています。

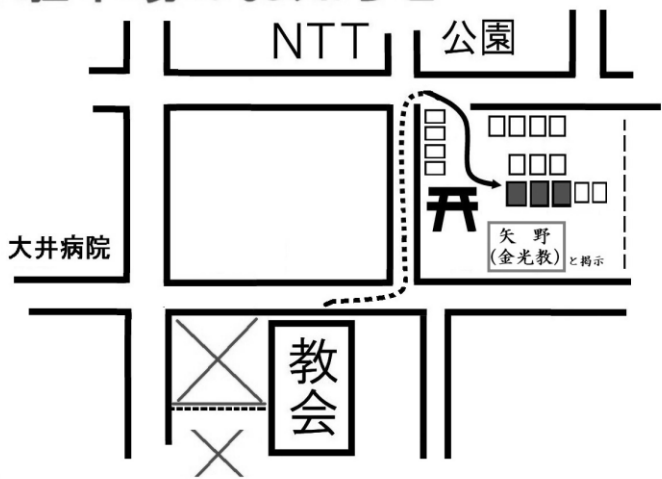
あしあと

加治木教会行事記録

9月

1 (水)	●報徳月例祭	10時半
5 (日)	東日本大震災十年祭Uチューブ鑑賞会	
9 (木)	清掃御用	10時
10 (金)	●月例祭 (生佛金光 併せ)	10時半
20 (祝)	大重家霊祭	
21 (火)	清掃御用	10時
22 (水)	●月例祭 (天地堂 乃神様)	13時半
23 (祝)	●秋季霊祭	10時半
30 (木)	清掃御用	10時

駐車場のお知らせ



十月二日(土)～三日(日)

御本部

生神金光大神御大祭 参拝

交通機関未定
宿泊先光風館
旅費未定
【二教会三名までの代表参拝】

十一月二十八日(日) 午前十一時

加治木教会

生神金光大神御大祭 奉仕

※祭典後、教話。 前日清掃御用
お直会はお持ち帰りです。

十一月十五日～二十六日

御大祭奉迎 信行期間

「祈念・研修」午前五時十五分
午前十時

《記念祭》 (予定)

十一月三日(祝) 枕崎教会

十一月二十一日(日) 多良木教会

十一月二十三日(祝) 宮之城教会

教会行事

10月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
併せて 教祖誕生誕祭
- 2 (土)～3 (日) 御本部 生神 御大祭参拝
- 6 (水) 中村家霊祭
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●月例祭(生神金光、併せて 天神様 月例霊祭) 10時半
- 18 (月)～19 (火) 甘木親教会御用(教会長)
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭(天地金、乃神様) 共励会13時半
- 24 (日) 人吉教会 御大祭 11時
- 31 (日) 清掃御用 10時

※十月十一日(月)

～十七日(日)

お広前の床の張替え工事

を実施いたします。

畳から床を張替え、タイルカーペットにする予定です。大工仕事など、お手伝いのできる方はふるって御用奉仕のおかげを頂いて下さい。



11月

- 月例祭日変更 22日→19日 (宮之城教会記念祭のため)
- 1 (月) 月例祭(報徳)
 - 8 (月) 連合会執行部会(鹿見島 教会) 10時半
 - 9 (火) 清掃御用 10時
 - 10 (水) ●月例祭(生神金光、併せて 天神様) 10時半
 - 併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
 - 18 (木) 清掃御用 10時
 - 19 (金) ●月例祭(天地金、乃神様) 共励会13時半
 - 21 (日) 多良木教会85年記念祭
 - 23 (祝・月) 宮之城教会60年記念祭
 - 27 (土) 御用奉仕
 - 28 (日) ●加治木教会 御大祭 11時
 - 30 (火) 清掃御用

スマホやパソコンで聴くことの

できるオースメ教話・研修会

(YouTube配信)

「金光教東日本大震災十年祭」

「祭典・朗読・ほか」

講話 岩崎道興先生(教務総長)

(二〇二一年 九月五日)

「金光教全国信徒会」

第三回全国大会「三四国」

講話 岩崎道興先生(教務総長)

(二〇二一年 七月十八日)

「金光教世界平和を祈る集い」

講話 川上功績先生(品川教会長)

(二〇二一年十二月十八日)